

第 1 回燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域 計画申請書の概要

○ 商用車の潜在的需要（需要基準）

評価項目	必須 or 加点※	愛知県の状況
県内に登録されている車両の輸送トンキロ数が 50 億トンキロ以上であること	必須	13, 898, 072 千トンキロ
県内の高速道路における大型車走行台数が 10, 000 台/日以上であること	必須	19, 113 台/日

○ 地方公共団体の意欲的な取組（地方公共団体基準）

分類	評価項目	必須 or 加点※	配点	愛知県の状況
協議会等での需要のとりまとめ	協議会において普及に向けた議論が行われている	必須	なし	実施済み
	需要のポテンシャルが高いエリアが具体的に検討されている	加点	5 点	県内 6 エリアを想定
	上記のうち、特定のエリアにおいて商用車の導入見込みが確認されている	加点	10 点	導入見込みをヒアリング済
	上記のうち、特定のエリアにおいて水素ステーションの整備または増強の計画が検討されている、または既に商用車に対応した規模の水素ステーションが整備されている	加点	10 点	県内で大規模モデル（500Nm ³ /h 以上）が 3 基設置済
	周辺の地方公共団体との将来的な連携に向けた検討がされている	加点	5 点	隣接自治体と調整中
2030 年度の商用車導入目標の設定	FC 商用車の導入目標が設定されている	必須	なし	7, 000 台の目標を設定
	上記目標を対外的に公表している	加点	5 点	令和 7 年 2 月議会や 3 月の総決起集会で公表済
	目標が普通貨物車及び乗合用普通車の合計の 3%を大きく上回る	加点	5 点	大きく上回る（3%は約 4, 800 台）
	目標達成に必要な水素ステーションの基数及び規模が検討されている	加点	5 点	FC 商用車に対応した水素ステーションが 74 基必要と試算
	車両導入及び水素ステーション整備の中間目標が設定されている	加点	10 点	設定済

	る			
	FC 商用車の導入が進んでいる	加点	10 点	FC バスを中心に導入が進んでいる
地 方 公 共 団 体 に よ る 支 援	①車両導入費支援 ②水素ステーション整備費支援 ③水素ステーション運営費支援 または燃料費支援の 3 つの支援 が予定されている	必須	なし	実施予定
	小型 FCトラック導入に対する十分な補助が予定されている	加点	5 点	予算措置済
	大型 FCトラック導入に対する十分な補助が予定されている	加点	5 点	予算措置済
	FC バス導入に対する十分な補助が予定されている	加点	5 点	予算措置済
	水素ステーション整備に対する十分な補助が予定されている	加点	5 点	予算措置済
	水素ステーションの運営に対する十分な補助が予定されている	加点	5 点	予算措置済
	FC 商用車のユーザーに対する十分な補助が予定されている	加点	5 点	予算措置済
	上記以外の独自支援が予定されている	加点	5 点	水素を運搬するトレーラーの導入補助など独自支援を予定

※ 必須 or 加点欄について、必須は申請に向けて必ず満たす必要のある項目、加点は満たす必要はないが審査のうえで加点される項目。